

おこっぺ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

議会だより

第140号

平成27年2月16日



琴伝流大正琴あすなる会

発行／☎098-1692 紋別郡興部町旭町 興部町議会 TEL (0158) 82-2131 編集／議会広報特別委員会
FAX (0158) 82-2990

第4回町議会定例会 P2～5

臨時議会報告..... P5

町政ここが聞きたい P6～9

議員活動報告・編集後記 P10

平成26年 第4回 町議会定例会のあらまし

平成26年第4回町議会定例会は、12月11日(休)開会され、町長の行政報告、承認1件、議案11件、発議2件、計14案件が審議されました。

町長行政報告

中学校の統合と 新校舎の建設

興部・沙留中学校の校舎・体育館などの建物については老朽化が著しく、各学校の施設改修も大きな課題となっており、また、町の財政状況等も考慮すると2校共の改築は極めて困難な状況であり、教育環境の充実を図る上でも統合による、新たな中学校の建設が望ましいと考え、保護者懇談会や地域懇談会を開催し、アンケート調査などによる意見聴取も行いながら、ご理解・ご了解をいただけるよう努めてきた。

このような経過のなか、沙留小学校及び沙留中学校PTA総会において、中学校の統合再編にご賛同をいただける旨の決議をいただきました。同様に興部小学校及び興部中学校のPTAにおいても、今月中には統合への賛同をいただける旨

のお話を伺っている。これらを踏まえ、中学校の統合と新校舎の建設に向けて具体的に作業を進めます。今後は早々に、専任の職員を配置し、新中学校校舎整備等検討委員会を立ち上げ、平成30年4月からの開校をめざし、鋭意作業を進めます。

興部高等学校への 志願状況

11月下旬から12月上旬にかけて、興部・沙留中学校において、それぞれ三者面談が行われました。来年3月における両中学校の卒業予定者は、合わせて42名であり、現在興部中学校では15名、沙留中学校では5名近隣の市町村からは16名の合計36名が興部高等学校への入学を希望している。例年より多くの入学希望者であるが、要因は滝上高校の存続問題などの関係があり、紋別方面からの希望者が増えている。地元高校生

続のため、一人でも多くの生徒が興部高等学校へ入学するよう期待する。

病院改築工事の進捗状況

病院本体工事の進捗率は、11月末時点で約70%となっており、工事内容は、外壁タイル貼りが大方終了し、建物を覆っていた足場も外され、建物全景を見ることが出来る。建物内部では、各部屋の間仕切り壁を施工し、窓・ドアなど建具類も順次据え付けられ、空調など機械設備の設置、壁・床・天井の内装工事へと進んでいく。職員住宅新築工事も順調に進み、12月10日に完成予定となっている。

なお、新病院の開院は、平成27年4月4・5日の2日間で行越しを行い4月6日(月)を開院日と定め準備を進めます。



国保病院改築工事

「臨時福祉給付金」 及び「子育て世帯臨時特例給付金」の支給状況

消費税引上げによる低所得者や子育て世帯への影響を緩和する目的で実施している各給付金には、7月10日から10月10日までの間で申請受付を行い、10月31日の支給をもって事業を完了しました。最終的な申請者数は、「臨時福祉給付金」が635人(内加算対象者459人)で申請率85・8%、「子育て世帯臨時特例給付金」では、427人で申請率90・1%です。

高齢者等生活支援事業

在宅で生活する高齢者世帯に、冬期間の暖房用燃料に使用する灯油等購入費の一部として商工会商品券1万円分を支給し、生活の安定と福祉の増進を図る目的で実施しており、12月8日から申請を開始し、商品券の交付を進めている。申請期限は、3月20日まで。申請漏れが無いよう広報等により制度の周知に努める。

興部町防犯用電話自動応答録音装置購入事業

高齢者を狙ったオレオレ詐欺や金融商品等取引詐欺などの特殊詐欺は、誰にも相談させない、より巧妙な手段で成し遂げられ、平成26年度の年間被害総額は、過去最悪となることが予想される。興部警察署管内においても、警察の介入により被害が防止される事例も発生している。振込詐欺等の特殊詐欺被害を未然に防

止するため、65歳以上の単身世帯を対象として、電話に取り付け、着信してきた相手方に警告メッセージが自動応答される機器購入に対し補助制度として実施する。



防犯用電話自動応答録音装置

本年度冬期における節電対策

すでに報道等でご承知のとおり、国は北海道電力管内において12月1日から来年3月31日までの平日、午前8時から午後9時までの時間帯について、現在定着している節電の取組が確実に実施されるよう数値目標を伴わない節電要請を行っ

ている。町は、昨年と同様に節電対策取組方針を定め、町民の皆様へは、12月広報にて家庭・事業所での協力をお願いし、町有施設も、節電目標を設定した取組を実施します。

今後も、行政サービスの低下や、町民の皆様の安全安心の確保には十分留意して取り組めますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

農作物の作況

牧草は、春先の低温による生育不良もあり、一番牧草は前年並みとなり、昨年のような干ばつによる被害を受けなかった2番牧草については、昨年のほぼ2倍で前年並みの収量となっている。但し一部では、収穫時期に悪天候が重なり、刈り取り時期が遅れるなどの影響も見られた。飼料用トウモロコシは、10aあたり5千588kgと前年どおりの収量となっている。

生乳生産の状況

11月30日現在、前年同期を1千26t下回る4万9千753tとなっている。

林業関係の状況

植栽事業は、予定事業量をすべて工期内に完了し、下刈り・除間伐などの保育事業は、100%の進捗状況です。また、林道専用道秋里1号線開設工事1千280mは、9月25日完了した。

漁業生産の状況

全体の水揚量は、前年同期比2千796t減の2万1千831tとなり、計画比110%であり、主なもの、サケ定置網漁が11月30日に終漁し、漁獲量は、前年比2%減の2千643tとなり、水揚額は、前年比11%の伸び率です。ホタテ漁は10月29日に終漁し、漁獲量は、前年比10%減の

主役はあなたです！

議会を傍聴してみませんか

(手続きは、傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけ)

議会に対するご意見、ご要望がありましたら、議会事務局までお寄せください。

1万6千8tとなり、計画比114%であり、昨年大漁でありましたスルメイカ漁は前年同期比32%減ですが、1千657tと順調な漁獲量であります。

建設工事の発注状況

11月30日現在、土木・水道工事で95・8%、建築工事で91・0%となっており、残余の工事についても、準備が整い次第随時発注を予定している。

一般会計補正予算 (第5号)

今回の補正は、人事院勧告に伴う人件費の増、基金積立金の増などによる補正で、8千726万円を追加し、歳入歳出それぞれ42億4千783万9千円とし、可決した。

歳出の主なもの

- 財政調整基金積立金元金 4千87万1千円増
- 興部町防犯用電話自動応答録音装置購入事業補助金 100万円増
- 国民健康保険病院事業会計負担金 3千万円増

特別会計等補正予算

- 特別会計等6会計で補正予算が提案され、可決した。
- ① 平成26年度興部町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
補正額は、723万円を追加し、総額6億3千81

3万円とした。

補正内容は、高額療養費、出産育児一時金等の増加による増額。

② 平成26年度興部町後期高齢者医療に関する特別会計補正予算(第1号)
補正額は、31万5千円を追加し、総額5千751万5千円とした。

補正内容は、保険料還付金及び還付加算金の増額。

③ 平成26年度興部町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
補正額は、54万1千円を追加し、総額2億7千88万1千円とした。

補正内容は、居宅介護福祉用具購入費、居宅介護住宅改修費の増額。

④ 平成26年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
補正額は、292万6千円を減額し、総額4億3千898万4千円とした。

補正内容は、工事請負費の執行残額等の減額。

⑤ 平成26年度興部町公共

水道事業特別会計補正予算(第3号)
補正額は、88万円を増額し、総額3億8千212万4千円とした。

補正内容は、興部下水終末処理場のポンプ修繕料等の増額。

⑥ 平成26年度興部町国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号)
補正額は、収益的収入及び支出に3千199万4千円を増額し総額6億4千431万4千円とし、補正内容は、嘱託医師等報酬及び病院移転費用等の増額。資本的収入及び支出に155万円を増額し総額17億5千688万円とし、補正内容は、外構工事請負費の増額。

制定・改正された条例

○ 興部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に

議会の動き

| | |
|---------------|------------------------|
| 平成26年11月17日以降 | |
| 11月17日 | 議会全員協議会 |
| 21日 | 興部町商工会平成26年度永年勤続従業員表彰式 |
| 23日 | 勤労収穫感謝祭 |
| 25日 | 議会運営委員会 |
| // | 第5回町議会臨時会 |
| // | 議会全員協議会 |
| 26日 | オホーツククリンミーティング |
| // | 議会 |
| 27日 | 第2回広域紋別病院企業団議会臨時会 |
| 12月3日 | 西紋別地区環境衛生施設組合運営委員会 |
| 8日 | 議会運営委員会 |
| 11日 | 第4回町議会定例会 |
| // | 議会広報特別委員会 |
| 19日 | 歳末特別警戒商店・料飲店等訪問 |

関する基準等を定める条例の制定

○興部町地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例の制定

○興部町国民健康保険条例の一部を改正する条例

その他議決した案件

○興部町各集落センター及び各地区会館の指定管理者の指定について、可決した。

意見書の採択

①漁業用燃油にかかる軽油引取税免税措置の堅持に関する意見書

提出者 矢野 幸三議員
賛成者 阿部 昭一議員
賛成者 横内 武久議員
賛成者 前田 義雄議員
賛成者 藤渡 昭博議員
道民に対する水産物の安定供給とともに、漁業者の経営安定を維持するた

め、漁業用燃油にかかる軽油引取税の免税措置を堅持することを求める意見書を提出する。

②軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書
提出者 松村 裕治議員
賛成者 小泉 優子議員
賛成者 佐々木忠行議員
賛成者 佐藤 吉春議員
索道事業者（興部スキー場）、農林水産事業者、鉱物採掘業者等の経営が圧迫され、地域経済を支えている産業の衰退を招くことのないよう、軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書を提出する。



興部スキー場

臨時議会報告

平成26年第5回町議会臨時会は、11月25日に開催され議決案件6件が審議された。

○平成26年度興部町一般会計補正予算（第4号）
主な補正内容は、仲町職員住宅内部改修工事請負費及び高齢者等生活支援事業扶助費の増額等による補正で、3千67万7千円を追加し、総額41億5千622万9千円とし、可決した。

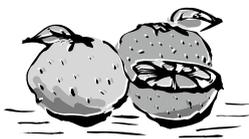
○平成26年度興部町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
主な補正内容は、公共下水道汚水管渠改築工事請負費の執行残額の減額及び公共下水道汚水管渠改築工事請負費その2の増額補正で、108万6千円を減額し、総額3億8千124万4千円とし、可決した。

○改正された条例

・町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
・特別職の給料、報酬及び旅費並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

・興部町教育委員会教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例

○その他議決した案件
・公共下水道汚水管渠改築工事請負契約の変更
契約金額
1億130万4千円を1億1千641万3千200円に変更する。



26日 紋別地区消防組合議会定例会

// 西紋別地区環境衛生施設組合議会定例会

29日 興部消防団歳末特別警戒慰問

平成27年 1月4日 興部町成人式



成人式（誓いの言葉）

6日 興部消防団出初式
18日 興部町商工会「歳末共同セール＆スタンプラリー」公開抽選会

23日 議会広報特別委員会

2月2日 議会広報特別委員会

19〜20日 オホーツク管内
定期大会

町政ここが聞きたい!!

問 町政執行方針 安心して暮らせるまちづくり 「高齢者専用住宅建設」について

答 高齢者が最後まで町に住んで
頂けるような施策を進めていく

佐藤吉春議員

一寿町長



佐藤議員

町政執行方針

「安心して暮らせるまちづくり」のスキームの一つとして、公営・町営住宅の維持管理をあげ、平成22年3月に10年計画で「興部町住宅施策推進基礎調査」なる冊子と興部町住宅マスタープラン及び公営住宅等長寿化計画の（概要版）リーフレットが出され、その計画から5年が経とうとしている。その住宅施策推進基礎調査には住民の貴重な沢

山のアンケートが載せられているが、そのアンケートがどの様に今の計画に生かされているのかお聞きします。次に、平成15年に初当選された一寿町長は、郵便局裏のJR跡地に高齢者住宅の建設を仄めかし、平成15年9月議会の一般質問、又平成16年6月議会の一般質問にも前向きな回答で「平成19年度以降の事業計画で検討する」と答えているが、この取組はどの様に進んでいるのか先の質問と併せてお答えください。

一寿町長

住宅マスター

プランの策定及び公営住宅長寿化計画は、町営住宅の状況を把握して住宅施策を行うことで取り組んでい

る。またアンケートを参考に進めているが財政が厳しい中、計画通り行かず先送りしてきた部分があり、2問目の高齢者住宅の件はアンケートの中でも大変多い要望でした。現在、介護支援課で認知証のショートステイ或いはケアハウスを含めた施設を高齢者対応として進めたい。



佐藤議員

説明を頂きまし

たが、財政難というのはこの冊子が出された平成22年3月は、その財政難の中で出版され計画が出来ている。町民のアンケートには涙が出てくるほどの切実な内容もある。私は全部読みました。その中には「興部

町で生まれ育ち都会に行つた子供達から一緒に住もうと云われているが、興部町で生涯を閉じたいと思うがそのような施設がない。」この様な方もおります。町長から先ほどハッキリとした答えはもらえなかつたが、お茶の間懇談会での高齢者住宅建設の話、いまだに何時建つんだろうというお年寄りもおります。これに対してどう思いますか。

一寿町長

懇談会の中

で話したことも事実でありますが、私はすぐ建てるというお話ではなくて、財政再建をさせて欲しいということと、当初想定していなかった病院を建てる事を最優先したことは方針の転換であり理解頂きたい。また特養を持たず在宅介護を進める中、ある程度住み替えをして興部町に住んで頂けるような体制を考えていきたい。栄町の2階建て公営住宅は、1階はお年寄り、2階は若い人の方針で作られた公営住宅であります、

難しい問題もあります。議員の云われるよう、少なくともお年寄りが最後まで町に住んで頂けるような施策を進めて行きたいと考えている。

佐藤議員 興部町住宅施策推進基礎調査は、非常に良くできていると思います。

目標の項目別アンケートに対し行政の目標設定が出来ており、その中には高齢者向け住宅の誘導方策の検討、安心・安全に住める高齢者向け住宅の整備を民間活力も誘導し検討、又誰もが住みやすい町づくり方策の検討。ごく一部の紹介ですが、この通りできたら、あるいは2分の1もしくは3分の1でも興部町の町は素晴らしく変わると思いますが。ローリングプランとして多少の変更は仕方ないとしても、この町民アンケートに答える目標設定だけは断固として変えるべきではない。ついでに、1階は高齢者、2・3階は若者と云う話で公営住宅を建てたも

のが、車いすで身動きが出来ないとの悩みもアンケートに入っています。カビ・湿気・インターフォン・物置その辺も早急に対応して頂きたいと思う。

裕町長 空き屋、廃屋

問 町道の整備状況について

矢野幸三議員

答 地域と協議し年次計画を立て進めたい
裕 一寿町長



矢野議員

町道は集落を結ぶ、生活道路として町民生活に身近なものであり重要な位置を占めている。

改良、舗装が必要な路線もあり、地域幹線道路の早急な整備を進め、町民生活の利便性、安全性の確保のため整備及び維持修繕を進

の処理、公営住宅の問題、高齢者福祉、少子化子育て対策を含めた中で、良い方に見直し、今の質問の意見を十分参考にさせて頂き政策に反映させて頂きたい。

林もあります。

周辺に、飼料畑があり、畑に石が飛散するなど飼料収穫機械の故障の原因にもなりかねません。高額な特殊機械で、維持管理上の問題から補償請求の恐れもある、町道としては一番劣悪な状況にあると思う。

豊畑一号道路を、整備する考えはあるか。

裕町長

町道の281kmのうち市街は100%ですが、郊外山間部は51%の舗装状況です。一番遠い距離は指摘の豊畑、吉田さんに向けての町道です。

大型機械が進み牧草収穫時に石が入ると切断刃が傷むので、数百万の損害になると云う話も聞いている。

有利な補助事業を使って町道の舗装整備を進めてきたが、指摘の路線は何度もチャレンジしたが、補助対象にならず今に至っている。

北興で興部川の堤防を利用して集乳しているが、来年度事業で簡易舗装が出来る方向性が出た。

今後郊外の道路は全額単費でやらなければならぬ、

現道を利用した簡易舗装は路面が痛む恐れがあるが、補修は考える。吉田地先まで4kmあり完全舗装で7億円ぐらいかかる、簡易舗装であれば概略1億5千万円、この考え方で整理し、他の地域もその方向性を議論し了解してくれるのであれば年次計画の中で進めたい。

矢野議員

完全舗装が難しいのであれば、地域と協議し、事故が起きないように維持管理に努め安全な運行が出来るよう整備願いたい。



問 次期町長選への出馬意思について

矢野幸三議員

答 町民の判断を仰ぎたい

一寿町長

矢野議員

平成27年度は、統一地方選挙の年であり、次期町長選挙の出馬の意思について伺います。

一寿町長は平成15年町長に就任以来早くも三期12年が過ぎようとしている。町民のため、日夜を問わず精力的に行動されていることは、町民だれしもが認めるところであり、二期8年間には財政再建に積極的取り組み、町民の理解と協力があり実現された。その実行力が、大きく評価され町民から三期目を託された。

三期目は町長選で争点となった国保病院の改築を實現し、平成27年4月開院に向け順調に工事が進んでいる。

然し、興部町は少子化過疎化による人口の減少問題、中学校の統合、幼稚園・

保育所の一元化、教育・保育施設の老朽化、バイオマス事業の実施、沙留漁港の大型整備計画など、継続事業や、重要課題が目白押しであり、大きな予算も伴う。

国の関係省庁、道庁に対する行政手腕が大きく問われるところであり、卓越した発信力と行動力、経験と実績に町民も、来年の町長選挙に向け、一寿町長への期待も高まっている。

興部町の発展に継続して取り組む考えがあるか伺います。

一寿町長

主産業の酪農

や漁業の基盤整備、福祉などの関係も、出来る範囲で進めることが出来た。特に財政再建は議会で自主再建10カ年計画を議決、日本の中でも画期的な取り組みをして頂き、町民の理解もあ

りました。病院の建設は財政再建も進み、医療を守る岩として4月に開院できることも町民として胸を張れる事だと思えます。院長が興部町にとどまり守って頂いている、おかげと感謝したい。

昨年度からスタートした沙留漁港の新規整備計画、日本中の漁港で新規の改修は沙留漁港だけ、数十億の事業で水産基地沙留として更なる産業振興を望むことが出来る。

高齢化や少子化、人口減と云う地域の根幹を揺るがす課題に本格的に立ち向かう時代を迎えた。酪農と漁業の町で生産人口を増やし、沢山の子供を産んで育てると云うことは、財政再建以上に厳しいことと考える悩みぬいた。やり残したことも沢山あり、微力ながらこれに立ち向かい、豊かな生乳と水産物を核に新しい産業の創設と雇用を作り出し、難事業とは思いますがチャレンジしたい。

教育の問題は、中学校の統合の方向性は出来まし

た、新中学校校舎整備検討委員会を作り、整備だけでなく子供たちの学力、体力も向上するような取り組みも計画に盛り込んで頂くよう検討委員会に、町長としてお願いしたい。

3期目早々に体調を崩しましたが、順調に回復しているので町民皆様の支援が頂けるなら再度町民の判断

を仰ぎたい。

矢野議員

町長の前向きで

力強い言葉を頂きました。継続事業、重要課題が山積しており、将来に向かって町民に夢を与え、安心して住める興部町を目指し、次期も町政を担って頂きたく、祈念して、質問を終わります。

ひとくちメモ



○シテイマネージャー
人口5万人以下の市町村に対して、地方創生に意欲のある国家公務員や大学の研究者、民間シンクタンクの人材を派遣する制度。

う場合に、国が各府省庁に相談窓口を設け積極的に支援する制度。

○地方創生コンシェルジュ
地方公共団体が、地域総合戦略の策定を含め地域創生の取り組みを行

自治体が公募を行い、地域に興味のある都市部の住民を受け入れて、産業・観光振興などに従事してもらい、併せてその定住・定着を図り、地域活性化を図っていく制度。

○地方創生コンシェルジュ
地方公共団体が、地域総合戦略の策定を含め地域創生の取り組みを行

自治体が公募を行い、地域に興味のある都市部の住民を受け入れて、産業・観光振興などに従事してもらい、併せてその定住・定着を図り、地域活性化を図っていく制度。

問

地方創生事業と人材確保について
シテイマネージャーの派遣を要請
する考えは

前田義雄議員

答

地方創生コンシェルジュを考えて
いきたい

碓 一寿町長



前田議員

アベノミクスの

第三の矢である景気回復が
地方では成果が上がってい
ないとして「地方創生」が
大きな課題となっている。

国がまとめる総合戦略を
都道府県、市町村にも作成
する努力義務を課してい
る。地方創生に意欲のある
自治体の計画立案を支援す
るために官僚や大学教授や
シンクタンク等から専門の
人材をシテイマネージャー
として派遣するということ
だが、要請する事業を何か
考えているか。

碓町長

大きな話題と

なっている地方創生「まち・
ひと・しごと創生」に取り
組まない自治体は必要がな
いとまで発言されては納得
がいかない感もあるが「法」
で定められた以上は取り組
まざるを得ない。お許しを
いただけるなら、4期目の
大きなテーマとして取り組
む考えだ。

ただ、この法律だと町毎
で交付金の争奪合戦になる
ことを危惧している。道町
村会が緊急に意見のとりま
とめ、道庁と連携して進め
ていきたいとしている。管
内町村会の要望や各町村の
総合計画との整合性等の問
題がある。私としては、オ
ール管内レベルで絵を描か
ないと本来の地方創生には
繋がらないと思うので、管

内全体で使うのがいいと思
う。

私としては、シテイマネ
ージャーではなく「地方創
生コンシェルジュ」という
各省庁にアドバイスを受け
る制度がある。うちの町と
しては「何に取り組むか」
を決めなくてはならない

し、その上で、省庁にお願
いすることになる。お願い
も随時できるということな
ので「シテイマネージャー」
ではなく「コンシェルジュ」
を窓口としてお願いする方
向で考えている。

問

「地域おこし協力隊」を募集する
考えはないか

前田義雄議員

答

今後、受け入れたいという団体等
があれば、議論のうえ対応したい

碓 一寿町長

前田議員

国の、ふるさと

創生事業の唯一の成果「ふ
るさと納税制度」に乗って、
似たり寄つたりの案が示さ
れている。

私どもの町には特別な名
所旧跡、観光施設がある訳
ではないが、今年、遠軽、
滝上、雄武の各町村が観光
協会の事務局長を外部、特
に都市部より募集してい
る。雄武町長も「都会の人
の視点に立った情報を発信

できることを期待してい
る」と話している。

そこで、09年より実施さ
れている「地域おこし協力
隊」を募集する考えはない
か。国や道は、観光産業が
振興策のメインとしている
が、中国や東南アジアの新
興富裕層中心の大型買い物
ツアーである。それとは別
に最近では小単位、個性的、
こだわり、体験型を超えて
実践型の観光をする方も増

碓町長

今のところ商

工会や観光協会等から話し
は聞いていないが、そのよ
うな話があれば否定する
ものではない。私としては、
本腰を入れて考えるのであ
れば正規雇用したほうがい
いだろうとも思うが、補助
金も入るので上手に使う
ということとは否定しないの
で今後、受け皿となる福祉
関係を含め、色々な団体か
らそういう声をあげていた
だければと思います。

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

11月17・25日協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行った。

11月17日

○公共下水道汚水管渠改築工事請負契約の変更について

○平成26年度人事院勧告に対する町の対応について

○興部町職員住宅内部改修工事について

○高齢者等生活支援事業の実施について

11月25日

○新年度予算様式変更について

○興部町防犯用電話自動応答録音装置購入事業の実施について

○中学校統合に関する経過報告について

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部

改正内容について

○国保病院整備事業について

・進捗状況及び移転予定について

・移転等に係る補正について

○第3次地方分権一括法による介護保険法改正にかかる条例の制定について

・興部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

・興部町地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例

議会運営委員会

委員長 小泉 優子

11月25日、12月8日委員会を開催し、次の事項について審議した。

11月25日

○平成26年第5回議会臨時会の運営について

12月8日

○平成26年第4回議会定例会の運営について

過去の議会だよりを町ホームページに掲載しています！

今回の議会だより発行で140号となりました。過去の議会だより（第96号平成15年7月発行分から）を町ホームページから見るができますので、是非ご覧ください。
○町ホームページアドレス
<http://www.town.okoppe.lg.jp/>

編集後記

平成27年ひつじ年の新春を迎え、謹んで新年のお祝いを申し上げます。日頃より、町民の皆さまにおかれましては、町議会にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月には師走のさなか大義の不明確な衆議院議員選挙が行われました。アベノミクスという経済政策を全面に出しての戦い一強他弱の中、与党が3分の2を占める結果となりました。しかし、与党に対する国民の実質投票数は2分の1にも満たないことを決して見逃してはなりません。

今年、戦後70年という記念すべき年でもありません。国民が英知を出して平和国家日本を築いてきた70年間の不戦の歴史を粗末にはいけません。これから国会で議論される集団的自衛権、国家安全保障、特

定秘密保護法等の動向を注意深く関心を持って見つめ、思慮深い国民の一人でありたいものです。

今年も、多くの町民の皆さまのお力添えに支えられながら、町づくりの課題に果敢に挑戦していく、議会運営に努めてまいります。

ひつじ年にあたって、町民皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。
〔記：佐々木忠行広報委員長〕

- 広報委員長 佐々木忠行
- 副委員長 藤渡 昭博
- 委員 小泉 優子
- 委員 矢野 幸三
- 議会事務局長 日下 学
- 議会事務局主査 岡崎 峰子

